

令和 8 年 3 月 3 1 日

和光市子ども・子育て支援会議
会長 森田 明美 様

和光市子ども・子育て支援会議
こども・若者部会
部会長 中 智美

令和 7 年度第 3 回・第 4 回和光市子ども・子育て支援会議こども・若者部会に付された事項に対する審議結果について（報告）

当部会に付された事項について、令和 8 年 1 月 3 0 日(金)及び令和 8 年 3 月 1 7 日(火)に開催し、下記のとおり審議しましたので報告します。

記

1 議題

- (1) こどもの権利に関するアンケート調査結果に対する所見について
- (2) こどもの権利条例制定に向けたこどもの意見反映について

2 審議内容

- (1) こどもの権利に関するアンケート調査結果に対する所見について（第 3 回・第 4 回会議）

【意見】

- (ア) アンケート調査に小中高校生がしっかりと答えていて、自由記述も真剣に書いてくれていて、この意見を大事に受け止めて、条例に反映していきたい。
- (イ) アンケート調査には、和光市がどうという回答よりは、こども・若者自身の「今の気持ち」が表れていると感じた。
- (ウ) 小学生には「わこうっこ」や学童クラブなどの居場所があるが、中学生以上になると地域で安心して行ける場所が少ない。児童館は「小学生の場所」というイメージが強く、中高生は利用しにくいと感じている。
- (エ) ただ居場所をつくるのではなく、こどもとしっかり向き合う場所をつくってほしい。
- (オ) 相談したいとき、家庭の問題などは学校や地域の知人には話しにくい場合がある。知らない人の方が相談しやすいこともあり、電話よりメールや SNS の方が相談しやすいこともある。
- (カ) 自由記述の中には、いじめという言葉が多く出てきていて、「いじめを未然に防ぐ」

という言葉はそのとおりだと思う。いじめになる前の段階で、大人が関わり、こどもがつらいときに支えられる環境が必要である。話し合い、向き合える環境づくりが未然防止につながると思う。それは、失敗が許されることにもつながる。

- (キ) (いじめや、家庭の環境など) 誰かに相談できなくても、そこに行けばほっとできる、自分らしくいられる場所がほしい。
- (ク) いじめの前には、みんなが今楽しく、みんなが今安全に、みんなが今安心して、みんなが今仲良くするために、今サポートできることが大事で、それが前提にある。
- (ケ) 気軽に相談できることが大事で、チャイルドライン等は何かないと相談できないと思ってしまいハードルが高い。相談相手の人柄がわかること、秘密が守られることが相談のしやすさにつながる。学校では先生間で共有される不安があるため、学校以外で秘密が守られて相談しやすい場所が必要である。
- (コ) 「夢をもてる」という言葉を小学校4年生が言っていることに、重みを感じる。
- (サ) 「夢の壁」が存在する。夢を小さい頃は持っていたが、社会を知るにつれて夢がなくなってしまった。何が壁だか分からないが、ネット社会の中で、SNSで他人と比較する機会が多くなってしまったこともあるかもしれない。小学校4年生が夢をもちたいという言葉が出てくるということは、夢が持てない社会になってしまっているのだと思う。
- (シ) 夢を持てるためには、大人の存在やサポート、小さなきっかけや様々な体験の機会が重要である。
- (ス) 親も毎日忙しそうにしている。こどもの周りにいる大人が余裕を持てる社会をつくることによって、こどもも大人から必要なサポートを受けられると思う。だから、親のサポートをしっかりとってください。
- (セ) 世の中にこどもを不安にさせるような言葉が多くあふれていて、家庭や学校でも「危ないから」と言われて育ってきた。そのため、アンケートの中で「安全に安心して」という権利が多く選ばれているのかもしれない。
- (ソ) 「自分らしくいられる」ためには、自分にとって好きなことを見つけることが一つだと思う。私自身は、様々な経験をさせてもらうチャンスを親がたくさん与えてくれた。親が決めるのではなく、たくさんの機会が与えられた中で、私の意見を尊重して挑戦させてくれた。自分らしくいられるというのは、自分の気持ちを大切にしてくれることにつながると思う。
- (タ) アンケートの自由記述の中には、イベントが少ない、いろいろな機会がほしいといった声がある。こどもにとっての「今」には、何かにチャレンジできる機会が多くあることで、それに失敗したとしても次につながるような、わくわくする能動的なチャンスが必要である。
- (チ) 「休みたい」という言葉も多く出ている。自分の意思ではなく、やらされているから休みたいと思うのかもしれない。こどもの意見が十分に聞かれていない可能性があり、親にはこどもの声を丁寧に聞いてほしい。

(2) こどもの権利条例制定に向けたこどもの意見反映について

【意見】

第3回・第4回会議において、こどもの権利に関するアンケート調査結果やその自由記述をもとに議論してきました。私たちの想いを条例に反映してください。

【想い】

こどもは「今」を生きている。…（イ）（ク）（タ）

もっと大人はこどもの意見を聴いてほしい。…（ア）（エ）（チ）

こどもが夢をもてる社会にしてほしい。…（コ）（サ）（シ）

こどもがわくわくするようなチャンスをたくさんほしい。たとえ失敗しても許されて、次につながるチャンスがたくさんほしい。…（ソ）（タ）

ただ居場所をつくるだけではなく、おとながこどもとしっかり向き合う場所をたくさんつくってほしい。…（エ）

相談したいときに身近に相談できる場所がほしい。その場所は、秘密が守られて、相談できなくても、ほっとできる場所。自分らしくいられる場所。中学生以上もそういった場所がほしい。…（ウ）（オ）（カ）（キ）（ケ）

こどもにとっては「今」が大事です。今楽しくて、今安全に安心して暮らすことができ、今みんなが仲良くするために、大人はこどもをサポートしてください。そして親へのサポートをしっかりしてください。…（ク）（ス）（セ）

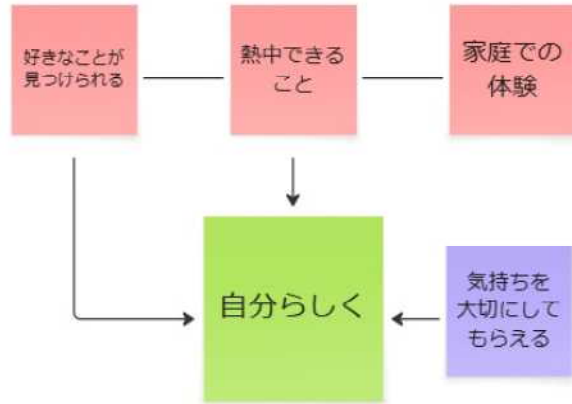
【意見】

また、条例づくりにおいて、以下のワードを大切にしてください。

【条例づくりで大切にしたいワード】

- こどもの「今」を大事にする
- 自分らしくいられる
- 自分の意見を聴いてもらえる
- 失敗が許される
- 挑戦できる
- いじめの未然防止
- 相談できる場所がある
- 安全に安心していられる
- 休みたい
- 夢をもてる
- こどもへのサポート
- 親へのサポート
- 秘密が守られる

自分らしさ



環境

- ・チャレンジさせてもらえる環境
- ・自分が認められる環境

夢

夢を持てる

親の理解

いまのこどもは夢をもっているのか

他者との比較

今が
大事

親の環境

親の余裕

核家族共働き

話す
語る

こどもと向き合う

忙しいこども

親の
意思

親に
言えない

将来への
不安

どこまでが自分の意思か

こどもの
意見表明

森田コーディネーター

中部会長

A委員

B委員

一緒に

休みたい

権利救済

C委員

安心

D委員

朝気持ちよく
起きる

いつまで
こどもなのか

権利を
守りたい

集団
行動

一人の
時間

差別

意見が
言える

差別

自分らしく

差別はいろいろなことにつながる

いじめ

いじめ

いじめ

いじめを未然に防ぐ

こども
たちが
向き合う

安全・安心

みんなが
楽しく

仲良く
暮らせる

普通の
生活を
大事

こども自身が解決する必要性

相談できる場所

匿名

選択肢

気軽さ

秘匿性

信頼

安心

学校以外の
場所

こどもが安心して相談できるようになるには

安心できる場所

学区外で
行ける
場所

安心できる
場所

居場所

相談できる
場所

こども
食堂

安心

自分らしく

中学生以上の居場所が少ない

失敗・挑戦

挑戦が
できる

失敗が
許される

能動的なチャンス